

2019年度スーパーグローバルハイスクールWWL
(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム
構築支援事業地域との協働による高等学校教育改革
推進事業(グローバル型) 合同連絡協議会

WWL採択機関10校取組紹介

大阪府立北野高等学校

大阪府立北野高等学校 校長 萩原 英治
首席 出口 学

大阪府教育庁 主任指導主事 松下 信之

1 構想概要

(1) 社会状況

- 健康格差の増大、慢性疾患の増加、健康寿命の延伸等

➡ SDGsにも掲げられる喫緊の課題

- AIによる自動診断、再生医療、介護ロボット
バイオテクノロジー等

➡ 関連技術の進展に対する期待

1 構想概要

(2) 大阪の動き

- 大阪国際医療産業特区構想案

 - ➡ 最先端医療開発とグローバルビジネスの実現に向けた取組み

- 大阪・関西万博

 - ➡ テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

1 構想概要

(3) 大阪府教育委員会の取組み

- テーマ：健康・医療、幸福
- 府立北野高校を拠点校としてGLHS10校がALネットワークを構築
- 国内外の連携校との協働プログラム
- 国内外の大学・企業との連携による高度な学びを提供

2 ビジュアル資料

大阪府「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」構想概要

【構想名】いのち輝く未来を創造するイノベティブなグローバル人材育成

【めざす生徒像】

- ・社会の急激な変化に対して柔軟に対応し、新たな物事に積極的にチャレンジする姿勢や態度を持っている。
- ・社会の課題を見抜き、解決に必要なエンジニアリングやデザイン思考、真理や美を追求する科学的・アートの発想の両方を身に付けている。
- ・グローバル社会において、確固としたアイデンティティを持ち、我が国独自の特長や強みを理解し、それらを基にした新たな価値を創り上げる力がある。
- ・他者を思いやり、多様性を尊重する姿勢を持ち、多くの人を巻き込み引っ張っていくための社会的スキルとリーダーシップを身に付けている。
- ・思いやりの心と多様性を理解する力、失敗を乗り越えて挑戦し続ける高いメンタリティを持っている。

【社会状況と連携した大阪の取組】

【社会状況】

- ・JR 大阪駅北側の再開発地区「うめきた 2 期」における国際連携大学・大学院等の設置や、中之島における未来医療国際拠点実証の場の設置など、医・商・工連携による最先端医療開発とグローバルビジネスの実現に向けた取組
- ・2025 年「大阪・関西万博」（「多様で心身ともに健康な生き方」がテーマ）

【大阪の取組】

- ・グローバルリーダーズハイスクール（以下 GLHS）がこれまで行ってきた文理にわたる課題研究の発展（すべての GLHS が連携校として参加）
- ・「健康・医療」、「幸福」をテーマにした課題研究
- ・2025 年度の「大阪・関西万博」と連携した事業設計（高校生や卒業生による「大阪・関西万博」での国際会議の開催等）
- ・大阪国際医療産業特区構想案と連動した取組

【WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムの構築に向けた AL ネットワークの取組】

管理機関（大阪府教育委員会）

- ・AL ネットワークの運営、カリキュラムの研究開発
- ・研修やセミナーの開催
- ・運営指導委員会の設置
- ・課題研究発表会、国際会議の実施
- ・成果に対する分析

協働

事業協働機関（国内外の大学・企業等）

- ・高度な学びの提供（オンライン、オフラインでの講義・演習等）
- ・課題研究に対する指導・助言
- ・成果に対する分析の支援

支援

支援

事業拠点校（大阪府立北野高等学校）、連携校（GLHS、Crookwell High School 等）

- ・社会課題のテーマ（健康・医療、幸福）に関する課題研究の実施
- ・大学等による高度な学びの場への参加
- ・課題研究を軸にしたカリキュラムマネジメントの運営・参加
- ・課題研究発表会、国際会議の運営

外部テストやアンケート等を用いた効果検証

運営指導委員会からの評価、助言を生かした事業の改善

【AL ネットワークの取組のアウトカム】

- ・イノベティブなグローバル人材を育成するためのカリキュラムの開発。（文理分断から脱却したカリキュラム作成、国内・国外の連携校との協働した課題研究、国際会議の開催）
- ・大学等との協働による大学の先取り履修、高度な学びを提供するシステムやプログラムを研究・開発

2029 年度までに大学の単位先取り履修や高度な学びができるシステムやプログラムを完成

3 本事業における申請要件の取組み

(1) グローバルな社会課題研究としてのテーマ設定

① 社会課題

- 健康格差の増大
- 先進国におけるQOLの低下
- 高齢化 → 世界全体の問題
- 「生きる」ということの意義の問い直し

3 本事業における申請要件の取組み

(1) グローバルな社会課題研究としてのテーマ設定

② テーマ設定

新たな発想で技術を活用し、すべての人の
QOLを高めるための社会・経済制度を
デザインする人材の育成

3 本事業における申請要件の取組み

(2) 関係機関による先進的なカリキュラムの研究開発・実施体制

管理機関

大阪府教育委員会◎

- ALネットワークの運営
- カリキュラムの研究開発
- 研修やセミナーの実施
- 運営指導委員会の設置
- 課題研究発表会、国際会議の実施
- 成果に関する分析



支援



連携

事業協働機関

大阪工業大学◎

大阪市立大学医学部

奈良県立医科大学

大阪教育大学教職大学院

大阪大学

Stanford University

パラメントディベート人材育成協会

- 高度な学びを提供
- 課題研究に対する指導・助言
- 成果に関する分析の支援



支援

事業拠点校

大阪府立北野高等学校◎

- 社会課題のテーマ（健康・医療、幸福）に関する課題研究の実施
- 大学等による高度な学びの場への参加
- 課題研究を軸にしたカリキュラムマネジメントの実施
- 課題研究発表会、国際会議の運営・参加

連携校

GLHSネットワーク

Crookwell High School

建国高級中学

SMK Convent Kajang

- 事業拠点校と同じテーマに関する課題研究の実施
- 課題研究に関する知見や教育資源のシェア
- 高度な学びの場への参加
- 課題研究発表会、国際会議への参加

3 本事業における申請要件の取組み

(3) 文理融合された「グローバル探求」等の新たな教科・科目の設定

① 国際情報（学校設定科目 2単位）

- ・ 目標
論理的思考力や科学的リテラシーの育成
- ・ 対象者
拠点校の1年生全員
- ・ 内容
「データ解析」、「統計処理」、
「データサイエンス」、「デザイン思考」

3 本事業における申請要件の取組み

(3) 文理融合された「グローバル探求」等の新たな教科・科目の設定

② WWLグローバル探究（学校設定科目 1単位）

- ・ 目標
問題解決能力等の育成
- ・ 対象者
WWLの取組みへの参加希望者
- ・ 内容
「健康・医療」「幸福」をテーマとした
課題研究

3 本事業における申請要件の取組み

(4) 大学教育の先取り履修の実施体制

事業協働機関との連携による講義演習の
カリキュラム開発

1年生12月～2年生3月まで週末や
長期休暇に講義・演習を実施

在籍校によらず学校設定科目として単位認定
する方法等について検討

3 本事業における申請要件の取組み

(5) より高度な内容を学習できる環境整備

(4) に加え、オンラインで高度な学びを提供するためのシステム構築

2019年度～2020年度 講演の録画・編集
2021年度から動画を公開予定

3 本事業における申請要件の取組み

(6) 留学・海外研修等の体系的な位置づけ

① 拠点校における海外研修

- ・ 海外連携校の国（台湾、マレーシア、オーストラリア）への訪問
- ・ サステナビリティをテーマとしたハワイ研修

② 国内連携校における海外研修

- ・ これまでの教育資源を活用した課題研究のテーマに応じた海外研修の実施

③ 拠点校、連携校合同の海外研修

- ・ 2020年度から実施

3 本事業における申請要件の取組み

(7) 各教科バランスよく学ぶ教育課程の編成

- ① 1年次にすべての生徒が「理数数学Ⅰ」、
「理数物理」、「理数化学」、「理数物理」等、
専門教科「理数」の科目を学習
- ② 学校設定科目「国際情報」ではデータ解析や
統計処理についても扱う予定
- ③ 2、3年次で文科を選択した生徒に対しても
専門教科「理数」の「理数数学Ⅱ」、
「理数数学特論」が必修

3 本事業における申請要件の取組み

- (8) 生徒が留学生と一緒に英語等で授業・探求活動等を履修するための学校体制
- ① 課題研究の授業を、特別免許を有しているネイティブスピーカーがオールイングリッシュで指導
 - ② 9月以降2人の留学生を受け入れ、授業や課題研究に参加

3 本事業における申請要件の取組み

(9) 国内外の高等学校と連携した高校生 国際会議等の開催

① 対象生徒：令和2年度入学生

② 国際会議の実施日：令和4年1月

③ 国際会議の内容

事業拠点校と国内外の連携校（計13校）の生徒が集まり、課題研究の内容によりグループ分けし、それぞれの課題について会議を行い、課題解決の方策を提言

4 今後の課題

- (1) 国内連携校の役割
- (2) 海外連携校との取組み
- (3) 大学の先取り履修の単位認定